

施策評価シート(令和2年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実		施策主管課	都市政策課		課長名	澤田 利徳	
政策の目指す姿		生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています								
施策No	04	施策名	景観形成の推進			関係課名				
施策の目指す姿		地域の特色を活かした景観が形成されています								
現状と課題										
【現状】 ・古くからの街並みの衰退や遊休地、農地山林の荒廃が進む可能性があります。 【課題】 ・古くからの街並みや遊休地、農地山林の適切な維持・管理・保全など多様な取組が必要です。										

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

岩手県景観計画に沿って引き続き景観保全に努める。

反映状況

岩手県景観計画に基づき意見を求められた年間22件の事案に対し回答を行った。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- (1) 景観形成の推進
- 地域との協働による良好な景観の保全
 - 市民との協働による古くからの街並みの景観保全の検討

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
地域の景観に愛着を持っている市民の割合	地域の景観に愛着を持っている市民の割合を示す指標	市民アンケート測定（あなたはお住まいの地域の街並みや景観に愛着を持っていますか？」（1）持っている、（2）どちらかといえば持っている、（3）どちらともいえない、（4）どちらかといえば持っていない、（5）持っていない（1）（2）選択数をカウント	%	目標値	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
				実績値	72.00	70.90	72.10	63.50		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	「地域の景観に愛着を持っている市民の割合」・・・【達成度b】 ・コロナウィルス感染症の影響によるイベント等の中止により景観への愛着が下がったと推測されるが、それでもなお、アンケート結果が6割以上の安定した割合で推移しているのは、市民に親しみのある景観について、保たれていることが要因と考えられる。

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
なし
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
景観形成には、建築物や遊休地の適正な管理、農地や山村の保全など多様な取り組みが必要である。
今後の方向性
岩手県景観計画に沿って、引き続き景観保全に努める。